

当院において脳神経疾患の加療を受けられる方へ

「脳神経外科領域の治療方法の最適化を目指した総合的研究」へのご協力をお願い

1. 研究の目的および意義

脳神経外科で診療する疾患は脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血といった脳卒中とその原因となる脳血管の異常）、脳腫瘍（髄膜腫や下垂体腺腫、神経鞘腫などの良性腫瘍や神経膠腫、転移性脳腫瘍、悪性リンパ腫といった悪性腫瘍）、機能的疾患（てんかん、片側顔面痙攣、三叉神経痛、パーキンソン病、痙性麻痺など）、先天性疾患（水頭症、くも膜嚢胞、キアリ奇形など）、脊髄疾患（脊髄の腫瘍、血管障害、脊髄空洞症など）、その他感染症や外傷など多岐にわたります。同じ診断名であっても治療を必要としないものから現時点で有効の治療手段がないものまで様々です。これら脳や脊髄といった中枢神経系に発生する疾患は時に体の麻痺や意識障害といった重篤な後遺症を生じたり、生命を脅かす危険性があります。治療の難易度が非常に高い場合も多く、治療の合併症によってもこうした重篤な状態を招く場合があります。治療方法は手術や放射線治療、化学療法を症例ごとに選択するのが主で、これまでの知見から一部は治療法が確立されてきたものもありますが、未だ不明な部分も多いのが現状です。

本研究では原三信病院脳神経外科で治療を行われた患者さんのデータを個人情報に十分に配慮した上で詳しく解析し、治療方法などについて新たな知見を得ることを目的としています。

2. 研究の方法

2012年4月から研究許可日までに脳神経疾患で当科を受診または当科に入院されている患者様でこの研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。治療・検査などの診療情報と患者さんの状態を分析し、脳神経外科疾患の適切な治療方法を模索していきます。

〔取得する情報〕

一般的な診療情報：年齢、性別、病歴（生活歴、家族歴を含む）、症状、手術・放射線・化学療法などの治療方法治療前・後の患者さんの状態、臨床経過および生命予後など

検査データ：血液・髄液検査データ、放射線画像所見（CT、MRI、血管撮影、PET、SPECT、脳波など）、病理組織診断結果、遺伝子パネル検査結果

〔研究に利用する試料〕

手術等で採取された腫瘍組織や脳組織などの病理組織標本を研究に用いることがあります

ます。また必要に応じて以前に取得し保存されている同様の病理組織標本を再検査に用いることがあります。

なお、この研究の実施にあたり、企業などからの資金提供や、データ収集・解析といった労力の提供は受けません。

- 費用の負担について

この研究は、通常の保険診療の範囲内で行われ、特別な費用負担が発生することはありません。

- 情報の保存

本研究で収集した情報は、研究終了後5年間保存させていただきます。保存した情報を用い新たな研究を行う際は、原三信病院および研究協力施設のホームページ上に研究結果を掲示します。

- 情報の保管

本研究で取得した情報は原三信病院の医局で漏洩の無いよう厳重に保管します。

3. 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の保護に支障がない範囲でこの研究計画や資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。この研究では患者様のデータを個人情報とわからない形にして収集します。研究結果は、学会や論文で発表しますのでご理解ください。

4. 情報の使用を望まれない場合

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2029年3月までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療等病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。

5. 本研究の観察研究責任者および研究事務局

医療法人原三信病院 脳神経外科 高岸 創

連絡先 TEL：092-291-3434

FAX：092-291-3266

メールアドレス：s-takagishi@harasanshin.or.jp